

# 八坂 神奈子

(やさか・かなこ)

能力：『乾を創造する程度の能力』

所属：[守矢神社](#)(第10回大会より参戦)

## ファイト・スタイル

### 守矢攻守の要

本来は投げと関節が主要武器の組技系選手でありながら、高い身体能力で重い打撃に豪快な飛び技までこなす。さらに東方プロレス所属選手中最高峰の体格を有する上、肉体的な耐久力、持久力も高く、「打・投・極」に「飛」と「受」も加えてプロレスラーの理想形を高次元で実現する正にコンプリート・ファイター。

### 蛇神万力

V1アームロックと袈裟固めの複合技。

仰向けに寝ている相手に対して、右腕を相手の後頭部に回し、さらに相手の右手首をクラッチ。

こうして出来た輪に通すように、今度は左手を自分の右手首にホールドして準備完了。

あとは自力任せに反り返ることで相手を締め上げていく。

メインがスリーパーなので絞め技に分類されるが、相手の腕を殺す関節技の面もある。

もはやダメージソースではなく完全に相手を絞め殺す程度の威力があり

相手に的確なダメージを与えてダウンさせ、素早く近づき締め上げるその様は完全に蛇の捕食であり、異常なまでのタップ率を誇っている。

サブミッションの使い手や締め技・極め技を持ち合わせている選手は多数いるが

体格をフル活用している神奈子の万力とは威力に雲泥の差があると言われ、恐らく今日までの東プロの歴史において最強最大の締め技とも言われており、

[LTU](#)王者時代は数々の挑戦者を退け、[重鎮](#)をもタップさせた殺神技であり、

さらに東プロ至高のベルト[LSW](#)を[亡霊嬢](#)から奪い取ったのも、この技である。

グラウンド戦へ持ち込もうとする神奈子のムーブ一つで期待と絶望が入り混じった歓声が会場に響き渡る。

オリジナルは新日所属天山広吉のアナコンダバイス。

### エクспанデッド・オンバシラ

ボディスラムの要領で抱え上げるが真正面ではなく肩に乗せるようにして持ち上げ(ファイアーマンズキャリア)

相手の頭部を垂直落下式に叩きつける大技。

元々優れた体格である為に、勢いとロックを外さなければ即死級の威力を持っている。

オリジナルはノア所属三沢光晴のエメラルド・フロウジョン。

デビュー時期が同じであった[にとり](#)の『エメラルド・ポロロッカ』と技が被ったため滅多に使用されなかったが、

第22回大会以降は原型を[にとり](#)に譲り、ブレーンバスターの体勢から決める変形フロウジョンを用いている。

威力もさることながら人気も高い技で、この技の体勢に入ったところで、観客からは「オンバシラァ」のかけ声がかかるのが恒例となっている。

技名は、[東方風神録](#)で使用した『神祭「エクспанデッド・オンバシラ」』より。

## ネックハンギングツリー→ネックハンギングボム

相手を正面に立たせ、その首を両腕で高く掴み上げる危険な技。

文字通り「首吊り」状態であるが、気道は確保されており、頸動脈を絞める技なので窒息はしない。

(スリーパーをはじめ、プロレスにおける喉の絞め技はすべて、気管ではなく頸動脈を締める技である)

現在東プロに所属する全選手がこの技を直立状態で受ける事が出来ず身体が浮いてしまう程の力のためどんな相手へも確実なダメージになる。

ネックハンギングボムは発展系で、吊り上げられたときの反撃が鈍い相手への追撃として

相手をそのまま背中から床に叩きつける高角度のパワーボムになる。

## マウンテン・オブ・フェイス

略してMOFとも呼ばれる。

パイルドライバーの要領で抱え上げたあと、自らの両足を踏み込んで相手の両腕を封じ、

自ら前方に倒れ込んで叩き付ける変型フェイスバスター。その後相手を仰向けにしてエビ固めで固める。

[ルーミア](#)も同型の技を使うが、小柄な彼女と神奈子では破壊力が段違いになる。

原型はパイソン・スミス(NOAH)のフィニッシュムーブであるパイソントニエル。大元は故クラッシュ・ホーリーのクラッシュランディングだった。

技名は、[東方風神録](#)で使用した『「マウンテン・オブ・フェイス」』より。

フェイスバスター(Face Baster：顔面砕き)とフェイス(Faith：信仰)をかけたネーミングと思われる。

ちなみに[東方風神録](#)のサブタイトルでもある。

## 人間オンバシラ(トペ・スイシーダ)

オンバシラロケットとも言われる。場外へ転落した相手に向かって、ロープの反動を使って助走をつけ、

トップロープとセカンドロープの間をくぐって頭から激突する技で、代表的なルチャ殺法の一つである。

グラウンド型のパワーファイターと言われていた神奈子がこのような技を使ったという事で、試合後もファンの話題を独占した。

なお、軍神なのに **人間** オンバシラと呼ばれていることについては、気にしてはいけない。

トペ・スイシーダとは『自殺モノの激突』の意。日本では若手時代の藤波辰巳が愛用し『ドラゴンロケット』と呼ばれた。

## 注連縄スープレックス

注連縄スリーパースープレックスとも。スリーパーホールドから、

一気に後方に反り返って相手を投げる。

スリーパーと付いているが絞め技ではなく投げ技。ただし、相手の首がこちらの腕で完全に固定されている上に急角度で落ちるという大変に危険な技である。

オリジナルは、ノアの小橋建太のフィニッシュ技スリーパースープレックス。

## 首極め腕卍

正面から相手の右脇に左腕を差し込み、右手で掴んだ相手の左腕を(相手の)背中の方に折り曲げる。

そのあと左手で相手の左手首を掴み直し、自由になった右手で相手の右手首を掴む。

そこから相手の首をフロントネックロックの要領で右脇に抱え込み、

自分の背中を大きく仰け反らせて相手の頸動脈を圧迫する複合関節技。

(理論上はもちろん左右が逆でも可)

かつてリングスに参戦していた“サブミッションマスター”ヴォルク・ハンのオリジナル技で、

リングス出身の長井満也は魔界スリーパーという名称で使用した。

## 雪崩式パワーボム

トップロープからのパワーボムを叩きつける、荒ぶる神の奥義。  
本当は雪崩式のマウンテン・オブ・フェイスを狙っていたが偶然こうなったと本人の談。  
[LSW](#)挑戦権を賭けた試合で、異常な耐久力のある[永琳](#)をこの技で沈めた。

## その他の技

前転オンバシラ(前転しながらの浴びせ蹴り)・乾坤招来 突(コーナーから対角線上に助走を付けてのランニング・ラリアット)・  
ダブルアームスープレックス・ストレッチバスター・各種スリーパー・STF  
恵まれた体格をフルに駆使する技は、余すことなく相手にダメージを与え、無駄がない。

## 戦績

[[部分編集](#)]

+ 全戦績 -ネタバレを含むので注意-

## タイトル暦

### [LTU](#)王座

初代王者([諏訪子](#)・[早苗](#)との[守矢神社](#)組) 防衛5回(最多防衛記録保持)

### [LSW](#)王座

第五代王者 防衛なし

## 受賞歴

### 2008年度東方プロレス大賞

最優秀3人タッグ賞([守矢一家](#)([早苗](#)&[諏訪子](#)))

## 人間関係

▶ [早苗](#),[諏訪子](#)

([守矢神社](#)の巫女・神の関係)

▶ [幽香](#),[永琳](#),[魔理沙](#),[雛](#),[M.D](#)

([O.D.S.](#) 参入初期から抗争を繰り返しており、中立姿勢が強い[守矢神社](#)においても常にライバル意識を持っている)

## 入場曲

神さびた古戦場 ~ Suwa Foughten Field

## 評

東プロ参戦から一貫して独自の路線を行き、試合を展開する神奈子は多くの信仰を得る為に戦い続けている。  
その姿勢はタイトル挑戦への積極性にも現れており

[LSW](#)は惜しくも挑戦権獲得ならずとも

[LTU](#)は暫定王者だった(当時の)トップチーム[博麗神社](#)から奪うという快挙を成し遂げ、その後5度に渡って防衛。当時のヒール集団であった[第二期紅魔館](#)とも真っ向から勝負を挑んでいた。

しかし第20回大会における[幽香](#)(当時[第二期紅魔館](#))の[早苗](#)への精神肉体双方への執拗な攻撃に激怒、[LTU](#)タイトルを賭けて正面衝突をするも、その[早苗](#)がタップアウトしたことにより無念の王座陥落。以降は少し特殊なポジションでの参戦となる。

レスリングは何たるかを熟知しており、それに反する行為を顕著に嫌っている。その為臨時パートナーとなった[穰子がてゐ](#)によって謀られた時はいち早くレフェリーに詰め寄りまた[O.D.S](#)の言動はさておき反則行為には頑として立ち向かう姿勢を見せていた。

第27回大会での[GM軍](#)参入後、経営権争いに関しては未だコメントはしていないが今までの性格から金では解決される彼女ではないと思われるうえに、巫女の[早苗](#)が[霊夢](#)に襲撃され、その[霊夢](#)が『業務提携』としてGM軍入りを表明したところから、彼女を含め、結束の堅さを誇る[守矢神社](#)がGM軍と対立するのは必至と見られた。

- + 守矢神社の大黒オンバシラとして 第27回大会～第34回大会
- + オンバシラ、更なる信仰拡大へ 第35回大会～

[このページを編集](#)